

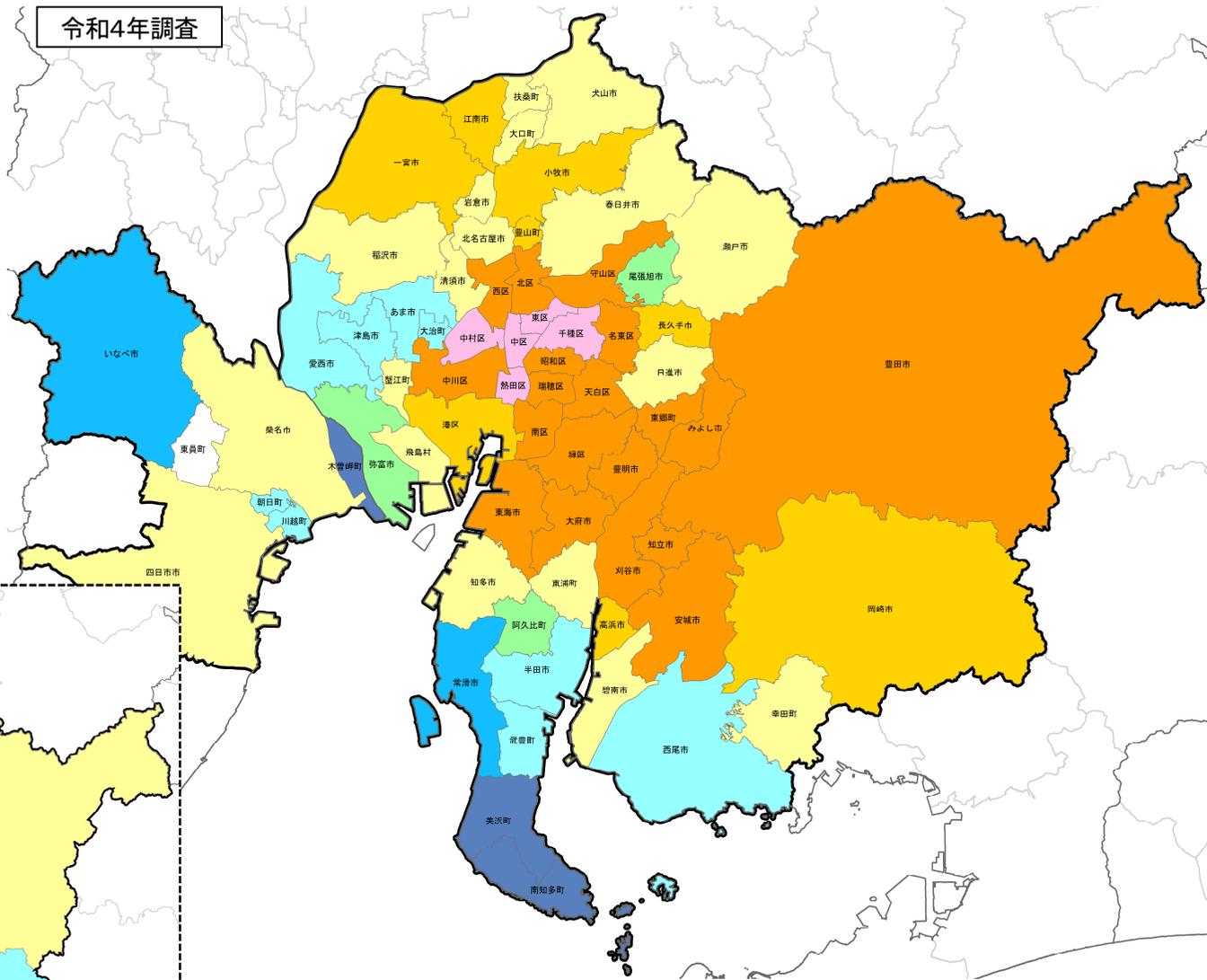
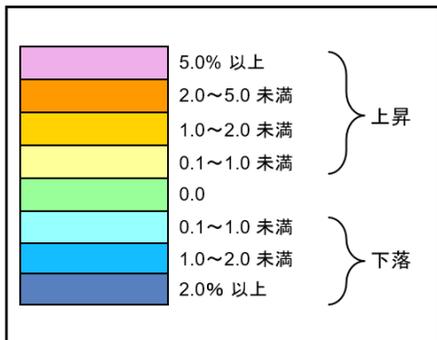
## 6. 名古屋圏の商業地

※（ ）は前年変動率

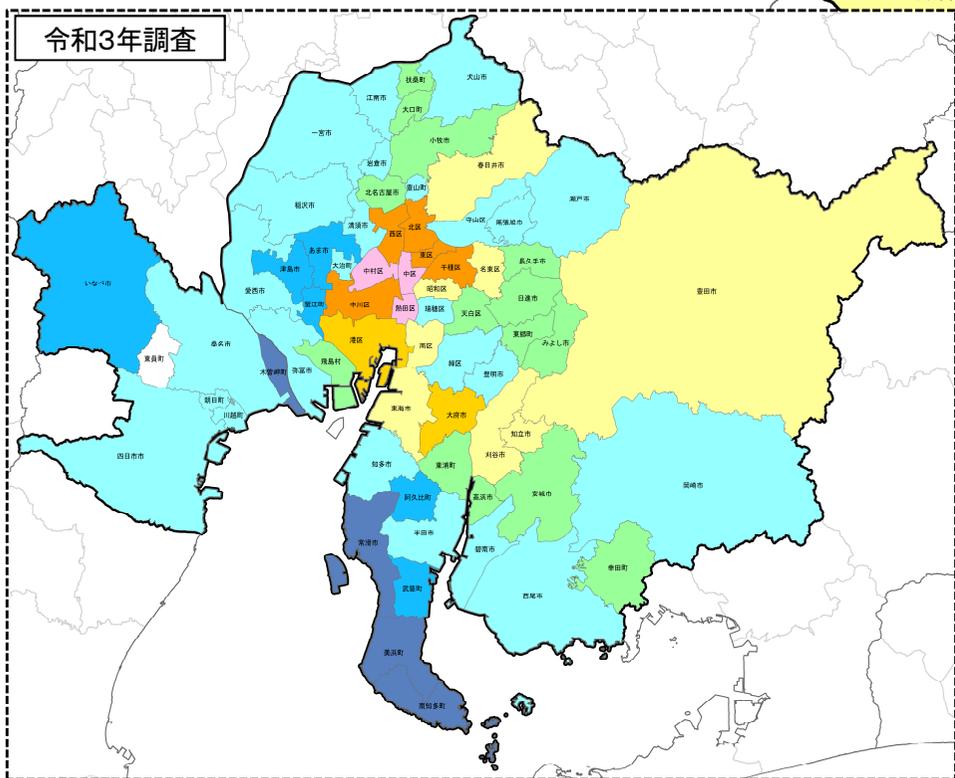
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 名古屋市では、4.4%上昇(3.2%上昇)。全16区のうち、13区で上昇率が拡大、3区で下落から上昇に転じ、全ての区で地価は上昇した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に市中心部で上昇しており、中区では5.9%上昇、中村区では5.4%上昇、東区では6.3%上昇、熱田区では5.7%上昇となった。</li> <li>・ 名古屋市中心部ではオフィスビルの空室率上昇等や飲食店等の出店意欲の減退がみられるものの、名駅周辺や栄地区では大規模再開発計画への発展期待感があり、また、住宅地と同様にマンション素地としての需要が堅調であることから地価は引き続き地価の上昇が継続している。</li> </ul> </li> <li>○ 西三河地域の鉄道駅周辺ではマンション素地としての需要が見込まれるほか、安城市や知立市などでは鉄道駅周辺整備事業や再開発事業が進行しており、地価の上昇が継続している。</li> </ul>
三重県	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 四日市市では、0.3%上昇(0.7%下落)。近鉄四日市駅周辺の飲食店では、客足は回復傾向であり、駅周辺ではマンション素地としての需要もあって、地価は下落から上昇に転じた。</li> <li>○ 桑名市では0.1%上昇(0.9%下落)。桑名駅周辺整備事業が進められており、今後の発展期待感から地価は下落から上昇に転じた。</li> </ul>

# 市区町村別の状況（名古屋圏・商業地）

令和4年調査



令和3年調査



※圏域内の白色部分は、継続地点が設置されていない市区町村である。